

令和2年度 企画管理部長「政策宣言」中間報告

企画管理部長 島 木 康 太

○ 令和2年度重要事業

事業名	地域の特性を生かしたまちづくりの推進
目 標	地方創生推進交付金を活用し、クロスベイ新湊を中心とした地域活性化や賑わい創出に取り組むとともに、まちづくり団体や高等教育機関の学生等との意見交換を踏まえ、将来にわたり夢と希望があふれる小杉駅周辺地区のまちづくり基本構想策定に取り組めます。
進捗状況	<p>クロスベイ新湊が本年8月1日にオープンし、定期的なマルシェやeスポーツの開催等を通じて、にぎわいの創出に努めました。</p> <p>また、地方創生推進交付金を活用し、新たな地域公共交通「べいぐるん」や、新高岡駅や小杉駅を結ぶ周遊バスの実証運行も開始するなど、アフターコロナを見据え、交流人口の受入体制の充実に努めました。</p> <p>加えて、本市の陸の玄関口である小杉駅周辺の将来像を描くため、地域のまちづくり団体や関係機関等で構成する小杉駅周辺地区まちづくり基本構想策定協議会を設置し、協議を進めました。</p>
今後の対応	射水ベイエリアの拠点であるクロスベイ新湊を中心に、地方創生推進交付金を活用した事業とも連携を図り、引き続き、地域のにぎわい創出に努めます。また、小杉駅周辺のまちづくりについては、策定協議会で議論等を深め、地域の方々とともに基本構想を策定します。

事業名	行財政改革の推進
目 標	公共施設の再編・長寿命化に向けた個別施設計画の策定をはじめ、よりわかりやすい事務事業評価の実施や第4次行財政改革集中改革プランの改訂など、質と量の両面からの行財政改革を着実に進めます。
進捗状況	<p>公共施設個別施設計画については、策定スケジュールや構成案等を9月議会で報告したほか、特別会計を含む主要事業を対象とした事務事業評価を3年ぶりに再開しました。</p> <p>第4次行財政改革集中改革プランについては、健全財政の堅持に向けた取組に加え、コロナ禍を踏まえた規制・制度の見直しや行政のデジタル化など、新たに12項目を追加した令和2年度改訂版を9月に公表しました。</p>
今後の対応	<p>12月議会で公共施設個別施設計画の素案を報告し、パブリックコメント等を実施した上で、来年3月末には計画を策定・公表できるよう事務を進めてまいります。</p> <p>併せて、集中改革プランの着実な進捗を図り、とりわけ行政手続における押印の取扱いについては、今年度中の見直しに向け、集中的に取り組めます。</p>

事業名	人口減少対策の推進
目標	危険空き家の解体や流通促進、未然防止などの空き家対策事業を迅速に推進するとともに、宅地取得支援や若者向けの家賃補助など移住定住支援事業を着実に実施し、定住人口の増加に努めます。
進捗状況	新型コロナウイルス感染症拡大により景気が後退する中、市内不動産の流通や、新たな地方移住・在宅勤務などの「新しい生活様式」を促進するため、住宅用地の購入費や、空き家を活用した移住者向けの住宅、サテライトオフィス、店舗等への購入改修費を助成する制度を創設し、定住人口・関係人口の創出に努めました。
今後の対応	市全域において増加傾向にある空き家を地域資源と捉え、移住定住者の受け皿創出や宿泊・飲食施設、交流施設など用途変更を行い、地域活性化・にぎわい創出を促進します。